

卓球部 活動報告

令和6年度 東京都総合体育大会 学校対抗の部

前回大会では3年生の力を借りながらも、なんとかベスト32に入り、シード権を獲得することができました。今回はそのシードを死守し、さらに上を目指すための大会でした。10月13日(日)に行われた抽選会でベスト16決定戦での対戦相手が東京都はもちろん関東大会本戦でも優勝している実践学園に決まりました。実践学園まで勝ち上がり、一泡吹かせてやろうという意気込みで練習に励みました。

今大会で強く感じたことは「勝つこと」の難しさです。シード権を持った状態で初めての大会ということもあったのか、明らかにチーム力ではこちらの方が上でも、普段のプレーからは想像できないようなミスをしてしまったり、オーダーの最期まで試合が回ってしまったりと初戦からベスト32決定戦まで全く気を抜けない試合が連続しました。どんなに実力差があったとしても、最後の一本、最後の一試合を決めきるまでは何が起るかわからないということを再確認しました。

結果的には4回戦に進出し、**東京都ベスト32をキープすることができました!**

これもひとえに、日頃から応援してくださっている周囲の皆様のおかげです。

ベスト16決定の実践学園との対戦では、各選手全力を尽くしましたが、0-3で敗北しました。どうか一矢報いたいところではありましたが、ここには大きな大きな壁があるということがよく分かりました。しかし、選手達が目標に掲げている「関東大会出場」を達成するためには、実践学園レベルの選手とも戦えるようになる必要があります。肌で感じたトップレベルに追いつき追い越せるようにまた一から練習に励んで参ります。次は12月の東京選手権予選に照準を合わせて選手はもちろん、監督も全力を尽くしますので、今後とも応援よろしく願いいたします。



レギュラーメンバー

左から

相多 雄仁 選手
(2年機械科)

富澤 修也 選手
(2年電気科)

和田 幸志郎 選手
(1年機械科)

河野 榮飛 選手
(1年デュアルシステム科)